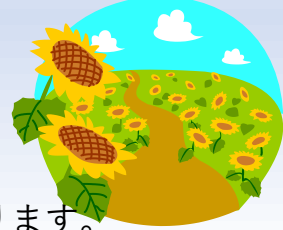


小学生の保護者の皆様へ



過去5年間の交通事故発生状況を見ますと、大阪府内では『こどもが関連する交通事故の死傷者数』は、8月に増加する傾向にあります。これは、夏休みに入り学校生活から離れて開放的な気分になって友達同士で遊ぶなど、こどもだけで外出する機会が増えることが一因となっていると思われます。保護者の皆様には、日頃からこどもが危険な通行方法をしていないか注意深く観察し、外出前に交通安全の呼びかけをしていただくほか、皆様自身が交通ルールをしっかりと守って、こどもに手本を示していただきますようお願いいたします。

歩行中事故で多い『こども側の原因』



- ① 飛び出し（全体の約3割）
- ② 横断歩道以外での横断
- ③ 駐停車車両の間からの横断



※ 自転車乗車中では、『安全不確認』が半数以上!!

正しい道路の渡り方を
繰り返し教えましょう!



自宅付近、交差点で起きている

こどもが関係する交通事故は
約半数が自宅から500m以内
約7割が交差点とその周辺
で発生しています。

慣れた場所でもしっかりと
安全確認させましょう!

安全確認の徹底

自分が交通ルールを守っていれば、絶対に安全ということではありません!
信号無視や、こどもに気付かず右左折してくる車もいるかもしれません

自転車も歩行者も、交差点では一度止まって右左右の安全確認
青信号でも右左右を見てからわたりましょう
道路は横断歩道でわたりましょう



交通ルールを守る

自転車は『車のなかま』

- ◎ 車道を左側通行
- ◎ 歩道を走るときは歩行者優先
- ◎ 一時停止場所では止まって安全確認
- ◎ 暗くなればライトを点ける



友だちが守っていないからって、
そのままついて行かない!

安全装備の確実な着用

こどもだけでなく保護者の方も

車は**全席**シートベルト



自転車に乗るなら**ヘルメット**

万が一の被害を軽減するために
正しい着用で命を守りましょう!

お子さんと一緒に自宅周辺の危険な場所を確認しあっていただき、
ここは左右が見えにくいから、一度止まって安全確認しようね
など、お子さんには具体的に、繰り返し教えてあげてください。